

令和4年度 第50回熊本県中学生バスケットボール優勝大会

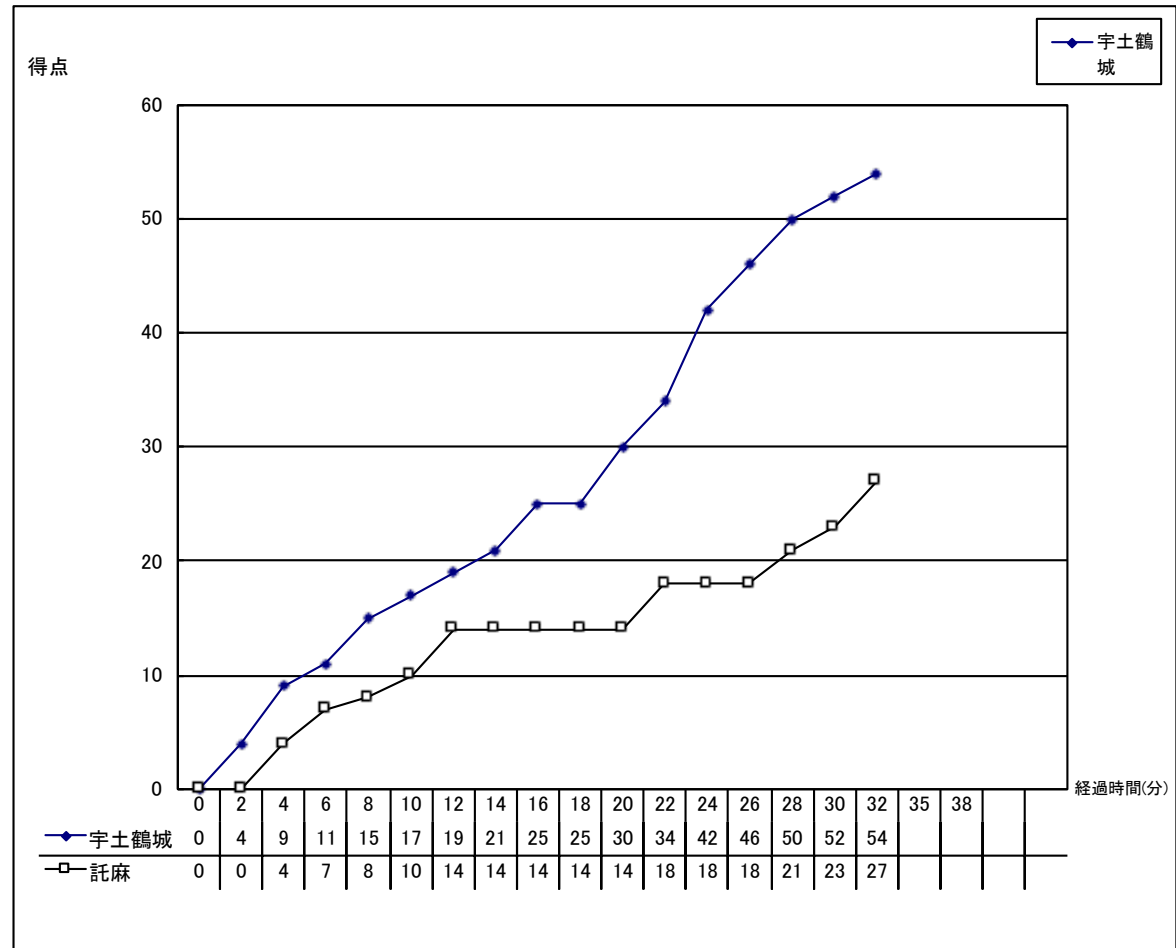
個人データ表

女子 決勝	令和4年6月4日	14:00 開始
会場：天草市民センター	Aコート	第4試合
主審：野田 宏樹	副審：林 剛太	小迫 健史

☆ 宇土鶴城	54	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1 Q</td><td>8</td></tr> <tr><td>10</td><td>2 Q</td><td>6</td></tr> <tr><td>17</td><td>3 Q</td><td>4</td></tr> <tr><td>12</td><td>4 Q</td><td>9</td></tr> </table>	15	1 Q	8	10	2 Q	6	17	3 Q	4	12	4 Q	9	27	託麻
15	1 Q	8														
10	2 Q	6														
17	3 Q	4														
12	4 Q	9														

宇土鶴城												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
○ 4	芥川 翠	18		2	7	12	4	4		3	1	4
5	東野 希奏	3		1	1	3	1	2		1		1
○ 6	白井 滯	4		2	2	3				3		3
○ 7	西本 未来	14		2	7	14			2	3	3	6
○ 8	小松野 叶愛	8		1	4	8			2	4	1	5
9	小松野 結愛					2			2	1		1
○ 10	佐藤 咲希	3	1	5					2		1	1
11	伊藤 なずな											
12	芥川 百々子	4			2	6			1	1		1
13	中尾 桜			1		1				1		1
14	安達 琉莉											
15	黒木 沙耶											
16	梅木田 乃愛											
17	橋本 乃愛											
18	大田黒 寿菜					1						
コーチ	馬場 一雅											
合計		54	1	14	23	50	5	6	9	17	6	23
成功率			7.1%		46.0%		83.3%					

託麻												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
○ 4	古屋 愛実					6		2	2	8	1	9
○ 5	木山 幸咲	15		6	4	12	7	8	1	1		1
○ 6	石田 乃愛			5		4					1	1
7	大田尾美鈴					1				1		1
8	大田尾美優											
9	木庭らんらん											
10	太田 鈴羅	2			1	2					1	1
11	上野 陽菜	4			2	4			1	1	1	2
12	大塚 美咲											
13	小郷伊乃莉											
14	松井 遥香											
15	井口 由麻	2			1	7			1	2	1	3
16	川上 留依	1				1	1	2	1	3	1	4
17	阿南 りな											
18	山内 綾音	3	1	6		2			1	1		1
コーチ	前田 誠											
合計		27	1	17	8	39	8	12	7	17	6	23
成功率			5.9%		20.5%		66.7%					



《戦評》

1Q:互いに決勝の緊張感からか、開始後2分間はシュートがうまく決まらない。宇土鶴城#7のドライブと #18の3Pが試合を動かす。落ち着かせるため、託麻は1回目のタイムアウトをとり、その後に託麻#5、#18の3Pで流れを戻す。しかし、宇土鶴城#7、#8のコンビネーションで加点し、宇土鶴城15-8託麻で1Q終了。

2Q:開始後からトランジションの速い攻防が続くも、互いにシュートが決まらない。託麻は#15のドライブなどで点差を縮めにかかる。両チームとも外角シュートが入らず、苦しい時間帯が続く。残り1分32秒で宇土鶴城が1回目のタイムアウト。宇土鶴城が#4のスティールから流れを引き寄せ、宇土鶴城25-14託麻で前半終了。

3Q:後半も膠着状態が続く。2分30秒、託麻#16の負傷交代がひびき、宇土鶴城がインサイドに侵入してくる。宇土鶴城は#7のジャンプシュートで加点。託麻は交代で入った#11が連続得点し、追いつがる。宇土鶴城は、強固なディフェンスからの速攻が次々と決まり、託麻たまらずタイムアウト。流れが戻らないまま、宇土鶴城42-18託麻で最終クォーターへ向かう。

4Q:疲れからか、3Pが互いに決まらないが、宇土鶴城がリバウンドを支配し、手を緩めない。徐々に点差が広がり、残り4分51秒、託麻は後半2回目のタイムアウト。巻き返しを図る託麻は#5のスティールなど、最後まで諦めずにボールを追う。最終スコアは宇土鶴城54-27託麻で宇土鶴城が優勝した。両チームとも、豊富な運動量と卓越した技術を見せ合い、緊張感のある好ゲームだった。

(熊本市立託麻中学校 栗崎 貴幸)